

## 幼児とのふれあいから学ぶ

## ～3年生保育園実習～

3年生が家庭科の学習「家族・家庭と子どもの成長」と、総合的な学習の時間での追究「人・社会とかわり、生き方を見つめる ～幼児とのふれあい体験を通して～」として、東端保育園で保育実習をさせていただきました。体育大会以後から準備を始め、実習で行う「遊び」を考えたり、おもちゃを製作したりしました。授業や実習を通して、幼児の特性や、幼児への接し方、保育士の苦勞について知るとともに、自分自身が幼い頃から周囲に支えられて育ってきたということに思いを寄せることができました。

私は保育園実習で「子どもへの接し方」がよくわかりました。子どもは背が小さいから、私たちが怖く見えてしまうと知ったので、保育園では子どもたちと同じ目線で話しかけました。そして、いつも笑顔でいました。すると、子どもたちが来てくれて、話しかけてきてくれました。子どもは笑顔が大好きなんだなと思いました。 3-1



保育園実習で、私は幼児とかかわるのはたいへんだなと思いました。みんながみんなかまってほしいと話しかけにきたので、子どもたちをまとめている保育士さんは本当にすごいと思いました。保育園では、幼児がけがをしないようにと工夫されていたし、なるほどということがたくさんありました。大変だったけど、楽しそうに幼児たちが遊んでくれたのでよかったですと思いました。 3-2

今回の実習で、改めて自分もたくさんの人にお世話になったことを思い出しました。また、いろんな経験をすることが自分にも、保育園の子にも大事だとわかりました。特に、ことばがけをすることで表情がよくなったり、笑顔になったりする経験をしたことから、人と接するときのことばや、小さい子を元気づけるときのことばに気をつけたいと思いました。 3-3

僕はこの保育園実習でたくさんのことを学びました。保育士さんの幼児との接し方などとても勉強になりました。対応のことに関しては日常でも使える知識だと思いました。様々な職業で学ぶことはたくさんあると改めて思いました。 3-4

### ○稲垣道夫杯安城市中学新人ソフトテニス大会

男子の部	第1位	1-1、	1-3
女子の部	第1位	1-2、	2-2
	第2位	2-3、	2-4
	第3位	2-1、	2-2

### ○全国中学生人権作文コンテスト愛知県大会

奨励賞 1-1

### ○中学生人権作文コンテスト

激励賞 1-2、 1-3

### ○愛知県中学生新人柔道大会（団体）

敢闘賞 1-4、 2-2



【 ・ ペア】